

第149号

2022

4.15

かわにし

議会だより



川西町議会H.P
QRコード

希望を胸に さあスタート

大塚小学校入学式 P35に関連記事

地域おこし協力隊	
地域づくりに大きな力	2
どうなった政策提言評価	6
地域拠点整備が前進(令和4年度予算) ..	10
議員定数削減へ	19
5人が町政をただす	24

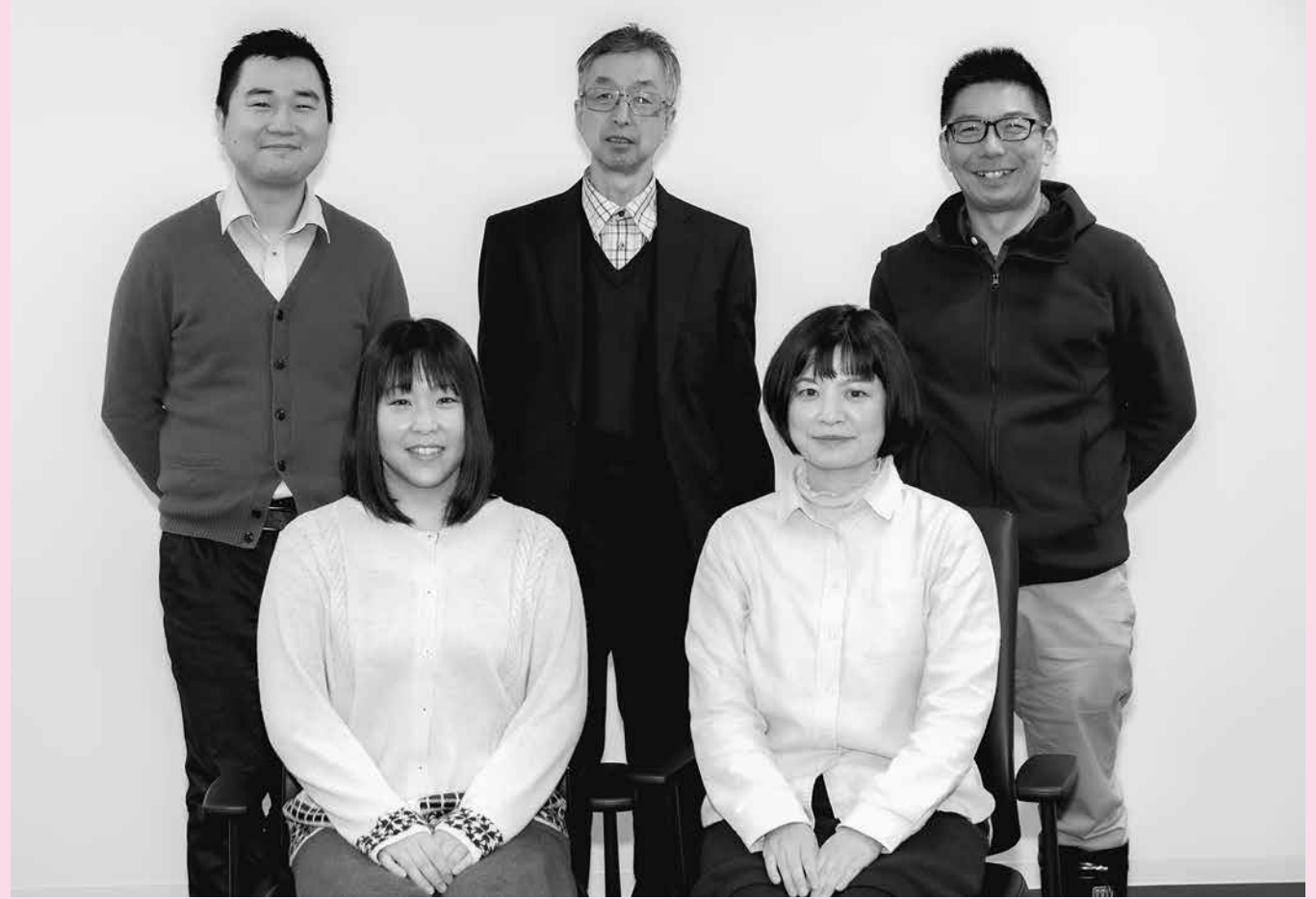
議会では毎年各地区に出向き意見交換会を行い、町民の声を集約し、町長に対して提言を行ってきました。さらに、町内で活動する団体や組織などに意見や要望をお聞きし、議会活動等に生かしてきました。

どちらの活動も、ここ2年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせてきました。今回号では感染拡大の状況を見ながら、意見聴取の場である「シリーズ広聴」を再開しました。地域活性化の切り札「川西町地域おこし協力隊」の皆さんに登場していただきました。

地域づくりに 大きな力 = 地域おこし協力隊 =

地域おこし協力隊とは
人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域づくり活動を行ってもらうことを目的とした制度です。

総務省の事業で、3年間の任期で地域活動や研究活動を通して地域活性化に寄与してもらう制度です。川西町では平成4年から事業化し、今まで28人が委嘱されました。令和3年度は6人が委嘱されました。



地域に溶け込みいきいきと活動する地域おこし協力隊のみなさん(前列左から鈴木、高谷里 後列左から林、井上、高谷毅の各氏)

司会 協力隊の報告会を見ました。皆さんの目的に向かうひたむきな姿と、私自身、川西町の魅力の再発見につながりました。はじめに、川西町を選んだ動機を伺います。

林 青年海外隊終了後、図書館司書の資格を取得したので、司書の職を探したら、

遅筆堂文庫の募集があり応募しました。好きな井上ひさしの生誕地ということ、「井上と戦争」というテーマも研究したかったです。

司会 林さんは3年の任期が終了します。続いて高谷さんにお話を伺います。

田舎暮らしにあこがれて

前から田舎暮らしのあこがれや農業に興味があり、ふるさと帰郷センターの紹介で2、3度訪ねて、農業支援があるということで、妻と相談の上決めました。

風景が気に入りました

高谷 私は朝日町出身なので、山形県に帰るのは抵抗ありませんでした。近くに山があり、吉島に行けば

地域おこし協力隊と川西町議会広聴広報常任委員会との意見交換会参加者名簿

No.	所属	職名	氏名
1	地域おこし協力隊	隊員	林 俊宏
2	地域おこし協力隊	隊員	高谷 毅
3	地域おこし協力隊	隊員	高谷 里美
4	地域おこし協力隊	隊員	井上 恒
5	地域おこし協力隊	元隊員	鈴木まどか
6	川西町議会	議長	鈴木 幸廣
7	広聴広報常任委員会	委員長	橋本 欣一
8	広聴広報常任委員会	副委員長	遠藤 明子
9	広聴広報常任委員会	委員	伊藤 進
10	広聴広報常任委員会	委員	伊藤 寿郎
11	広聴広報常任委員会	委員	寒河江 司
12	広聴広報常任委員会	委員	井上 晃一

協力隊員は6人中1人欠席



林 俊宏さん
出身：岐阜県岐阜市
主な活動内容：町立図書館司書業務、遅筆堂文庫分室での雑誌資料の整理、井上ひさし氏作品関連整理

林 司書の仕事をやりながら、遅筆堂文庫の研究員ということ、あいぼるで井上ひさし個人の雑誌

周りを見渡せる大パノラマが広がり、とても素敵な場所だと思いました。

司会 ありがとうございます。井上さんはどうでしょうか。

井上ひさしのデータベースに夢中

井上 私は単純な理由です。ここに遅筆堂文庫があるからです。小さい頃から、名前が同じ井上ひさしが好きで「ひよっこりひよつたん島」から始ま

り、あらゆる著作を読んできました。研究熱望が高じて、遅筆堂文庫にたどり着きました。

司会 井上さんは来町時から名前が先ずけて注目されています。次に鈴木さんについて伺います。

Uターンで地域貢献

鈴木 私は12月に任期が終了したばかりです。町内出身なのでUターンです。仕事があるか心配でしたが、父がタウン誌を発行し



雑誌・書籍類の分類中

ていたので置賜の情報があり、これを生かしていくのもいいかなと思いました。

司会 鈴木さんはすでに次の活動に動いておられるようです。次にそれぞれの業務内容をお聞きます。

井上書籍を2000件整理

シリーズ 広聴 町が大好き 6



高谷 毅さん
出身：東京都
主な活動内容：FM NCVラジオ年間通して研修先での農作業に従事。玉庭秋祭り運営サポート



アスパラ管理もお手のもの

書籍類の分類を行っています。3年間で約2000件分類しデータベースに登録しました。だいぶ整理したつもりですが、まだまだ残っています。

農作業に夢中

高谷 毅 現在、御伊勢町研修を行っています。1年目は何をやるのかわからず、見よう見まねで作業してきました。2年目は多少余裕ができたのか、自ら進んでできる作業も出てきました。一部担当の圃場

でつや姫や雪若丸の管理ができてより精が入ります。
伊藤 農作業はなかなか身につかないと覚えられません。経験がもの言いますから。

情報がつながる楽しさ

高倉 玉庭・四方山館に勤めながら、フードコーディネーターをやっています。来町した時にちょうどコロナが拡大した時期だったので、地域やさまざまな情報があつたに



井上 恒さん
出身：札幌市
主な活動内容：川西町フレンドリープラザ図書館において、井上ひさし氏に関わる調査・研究。井上ひさし氏作品を広める宣伝活動、図書館カウンター業務補助



また新たな発見が、井上文献

要望などがありましたらお聞かせ下さい。
道路環境を整備して
井上 歩道が狭く、歩行者にやさしくない町だなと思います。特に雪道では大変です。小学生からお年寄りまで大変な思いをしています。
除雪機の貸し出しを
高倉 1年目は雪が全く降らなかったのですが、2年、3年目は大雪となり、その大変さがわかってきました。

除雪機を買うほどの余裕もないので、貸し出しがあればいいですね。
回覧板の対応は
鈴木 回覧板回しが忙しいうちはなかなかできなくて、電子回覧板などがあればありがたいですね。
井上 若い方はスマホなどで情報提供・収集が当たり前です。ただ、対人の付合ひも大切です。高齢化で安全確認の意味もあります。

もかわならず、2年目でやっとその情報がつながってくるのが面白くなっています。郷土料理の研究提供、今はむくり鮎の加工を行っています。地元をめずらしい料理を多くの県内外の人に知ってもらいたいです。

奥深い井上文献

井上 フレンドリープラザ内遅筆堂文庫で井上ひさしの文献書籍整理をもとに、データベースを作成しています。地域おこし協力隊の分野では特殊な

分野かもしれない。趣味が高じての研究で、いたって楽しく働いています。毎日が発見の連続です。
遠藤 膨大な井上ひさしの情報をわかりやすく、簡単に引き出せるのは町民にとってもうれしいことです。情報に接する機会が増えればいいですね。

交流の場を提供

鈴木 1年目はセンターの手伝い程度でしたが、2年目以降はWEBデザインを中心に情報発信の手伝い、

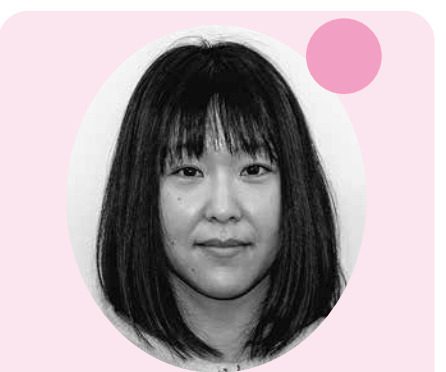


高谷 里美さん
出身：山形県朝日町
主な活動内容：FM NCVラジオ「たまにわ新聞」発行、農産物加工、むくり鮎の調査と製造



今日も元気に百歳体操

3年目は小松駅前の住宅を改装してシェアハウス開設の準備をしていました。大工さんや設備関係までも含めてDIYの工事でした。協力隊の仲間力も借りました。多くの町外の方々を呼んで情報発信につなげたいと思っています。協力隊同士の悩みや、移住者同士の悩みは共通の悩みもあるでしょうから、横のつながりが欲しいですね。皆さん忙しく時間がとれなっています。
寒江 川西町での生活で困ったことや、



鈴木まどかさん
出身：川西町（Uターン）
主な活動内容：東沢地区交流センターにてスマホ教室開催や空き家活用でゲストハウス施設開業に向けた準備（小松地区）



タブレット、なかなか便利なものだなあ

じっくり町を観察したい

林 協力隊の任期は終了しますが町内に残り、町の様子を見てみたいのです。今まだ、遅筆堂文庫オンラインです。ほかにも調べてみたいです。
伊藤 林さんは青年海外協力隊の経験もあり、ぜひ定住して経験を生かしてもらいたいです。（林さんは青年海外協力隊でブラジルに行く予定）

川西にしかないものを

高倉 他から来ると道がなく、特に歩行者が危険なところがあります。また、どこにもあるものも必要ですが、川西町にしかないものを求めています。物だけでなく、例えば小学生が横断歩道を渡った際頭を下げるようなのはいいですね。そんなやさしい風景などは大切にしたいです。

運転者にも優しい道路を

高倉 道路環境が悪いもそうですが、運転手側も危険です。ぜひ改善してほしいです。
司会 雪対策や道路の改善などが中心でしたが、議会としても参考に取組んでいきたいと思っています。協力隊としての活動からそれぞれの生き方を探して、ぜひ川西町に定住していただきたいと思っています。

次は政策検証

議員全員で 2年度政策を検証

3月25日、定例会最終日に、令和2年度検証評価報告書が鈴木議長から原田町長に手渡された。議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換会をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで「政策提言↓検証↓評価」の1サイクルが終了することになる。

8度目の政策検証となるが、どうしても中長期の政策は評価が低くなる。施策にスピード感がなければ評価が上がらないとも言える。

あのもうひとつた あの提言

議会は、町の政策計画から実施の過程で多面的に関わり、最終的に重要な意思決定を行う機関である。

実際には、多くの政策は町がつくり、議会に提案され、質問、質疑、修正等を通して決定される。

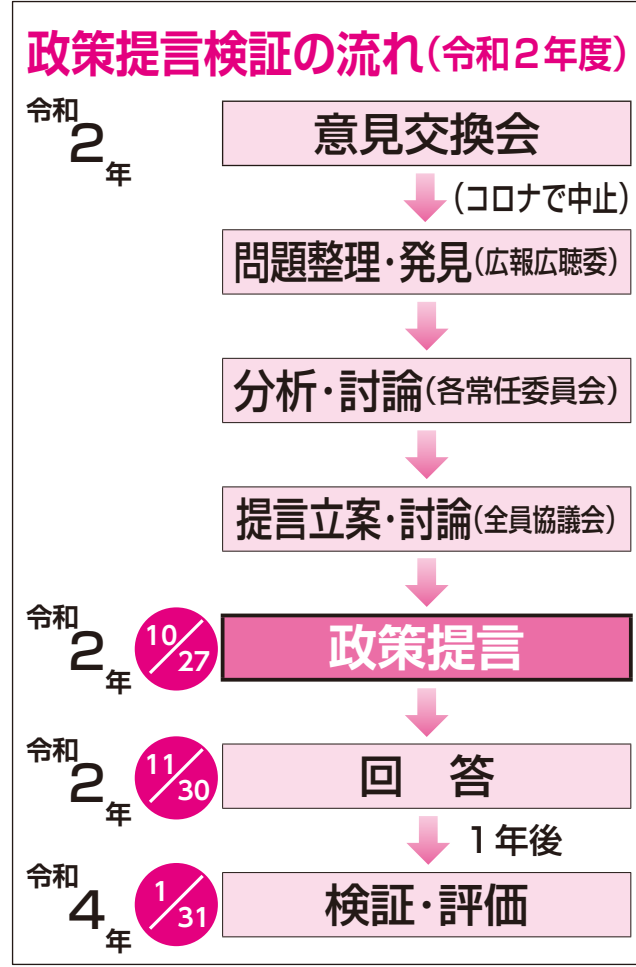
また、議会が決定した政策を中心に行う執行機関の行財政の運営や事業の実行が適正に公平・効率的に実行さ

れていくか監視する機会でもある。

川西独自の 検証システム

川西町議会は「川西町議会基本条例」を制定し、町当局に提言を行い、さらに検証・評価を行ってきた。当時、

検証・評価の基準はなく、先例事例もないため、川西町議会が全国に先がけて独自に考案し、改良改善を重ねて



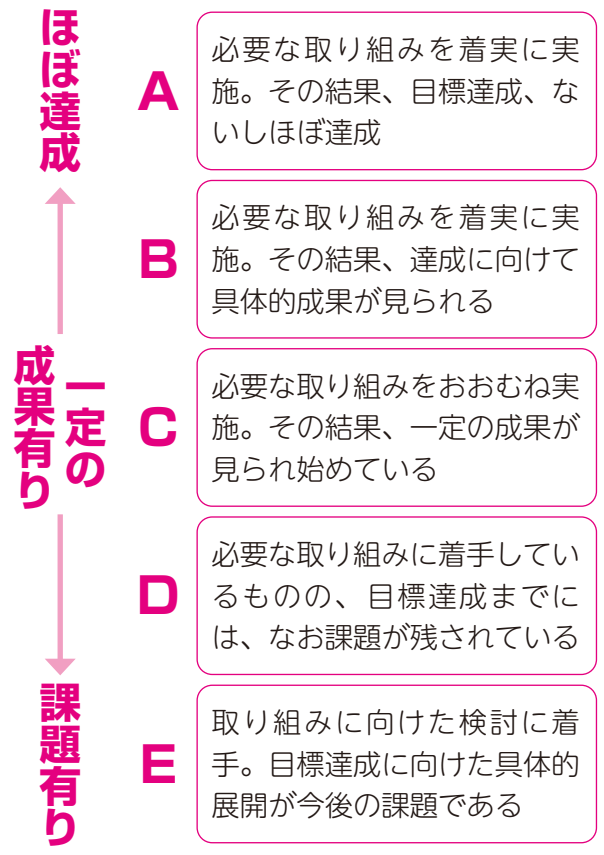
きた。

1年後の到達点を 5段階評価

具体的な評価方法は令和2年11月の町長からの回答書をもとに各常任委員会ごとに検証を行ってきた。

- 検証基準は次のとおりである。
- ① 政策を必要とする背景
 - ② 提案に至るまでの経緯
 - ③ 町民参加の実施の有無及びその内容
 - ④ ほかの自治体の類似する政策との比較
 - ⑤ 総合計画における位置づけ
 - ⑥ 財政的な裏付け
 - ⑦ 将来にわたる政策などの効果とコスト
- 担当課から回答後1年の施策実施状況の聴き取りを行い、その後各議員が5段階評価を行う。全議員の平均点
- 評価日は令和4年1月31日現在である。

政策検証評価基準



政策提言検証評価書を原田町長に手渡す鈴木議長 = 議場

提言 1 安全・安心なまちづくり

自然災害における防災・減災対策を示すこと

回答 川西町地域防災計画に基づき災害対策本部を設置し、関係機関および水防団と連携し対応する。新庁舎を防災拠点施設として情報提供や防災意識醸成に向け、組織の強化を図る。また、各地区自主防災会と連携し、組織活動を支援していく。

検証評価 消防・水防団組織の幹部だけでなく、団員の意見を聞き反映させるべきである。また、活動に合わせた報酬にすべき。防災体制の充実は、住民生活の基本である。さらなる安全・安心に努められたい。



身近におこる自然災害、地域あげて防災を

提言 2 計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

1. 公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること

回答 町有施設の10年間の計画的な維持管理として、平成28年に川西町公共施設等総合管理計画を策定した。具体的には個別計画に基づき維持している。今後大規模改修が多くなり、財政負担が見込まれるため、負担の軽減と平準化を図る。施設の在り方の検討を行う。

検証評価 老朽化した施設の在り方は検討が必要で、特に削減については住民の理解が得られるよう努められたい。令和4年3月に公共施設等総合管理計画が見直されることから、確実な実行を望む。

2. 新庁舎整備後の適正な財政運営を行うこと

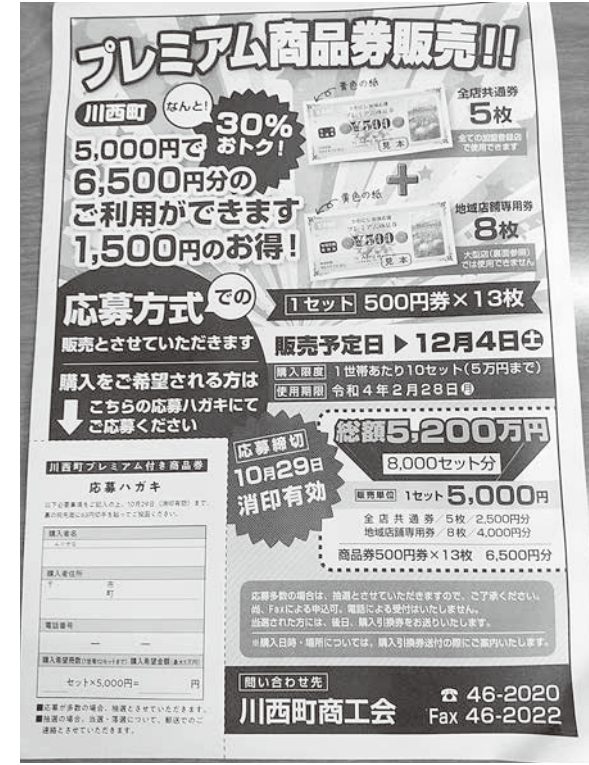
回答 大型プロジェクトを推進中であるが、住民サービスの低下などがないよう計画的に事業推進する。そのために、財政計画を十分検討するとともに、産業振興などで税収を図りながら、有利な補助事業や起債の活用など財源確保に努める。さらに優先順位を明確にし、事業見直し、業務改善を図る。

検証評価 大型事業の実施に伴い、財政を圧迫する懸念があるため公共施設等総合管理計画、個別計画、財政計画との整合性を図るべき。また、有利な補助事業や起債等の研究をすべき。

3. 庁舎跡地利活用における適正な財源確保を図ること

回答 地方創生拠点整備交付金の採択に向け取り組みを進めている。また、有利な補助事業や起債などの財源確保に努めていく。

検証評価 交付金に関わる情報収集や新たな交付金の追加要望が認められたことは評価する。また、新たな社会資本整備総合交付金が認められ、財源確保に一定の成果がみられる。さらなる財源確保のための研究を図られたい。



追加支援で事業継続の一助を

提言 3 深刻な打撃を受けている小規模事業者等へのきめ細やかな支援を

1. 農工商業の事業が維持できるよう、効果的な経済対策を行うこと

回答 外出をはじめ各種会議やイベントなどの自粛が相次ぎ、飲食業界やタクシー事業者、畜産や花き生産農家等への影響は甚大なものとなっている。国の交付金を活用しながら各種経済対策を講じている。感染状況を注視しながら、消費喚起や事業継続への支援など必要な対策を実行していく。

検証評価 経済対策はおおむね実施されている。国、県などの交付金の有効活用はもとより、町独自の支援を行っていく必要がある。また、米価下落で大きな打撃を受けた農家支援も必要である。

2. 深刻な打撃を受けている小規模事業者等へのきめ細やかな支援を行うこと

回答 業況が悪化している事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧となる支援を実施してきた。今後も商工団体や農業団体との連携を図りながら、事業の継続が可能となる効果的な支援を継続していく。

検証評価 早急な支援が重要であるので、細やかな対応、対策を行いながら進められたことは評価できる。事業者の経営把握に努め、有効な支援事業を打ち出していくべき。

次は定例会のあらまし

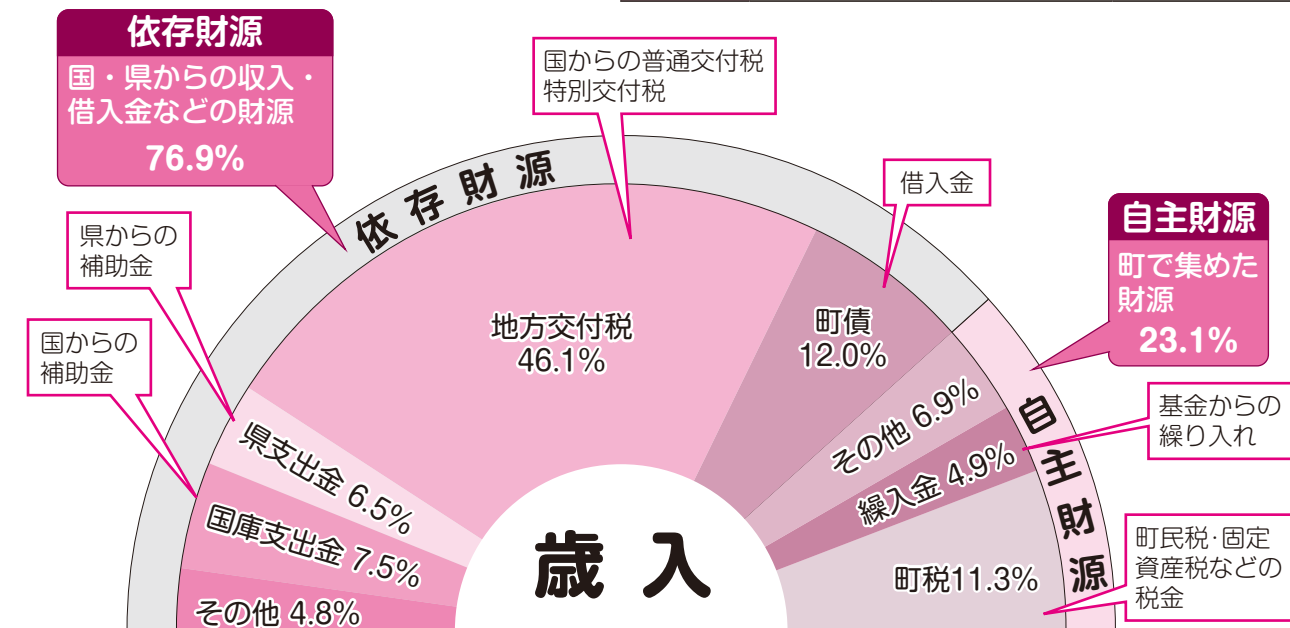
地域拠点施設(旧庁舎跡 地利用)が一步前進

3月
定例会

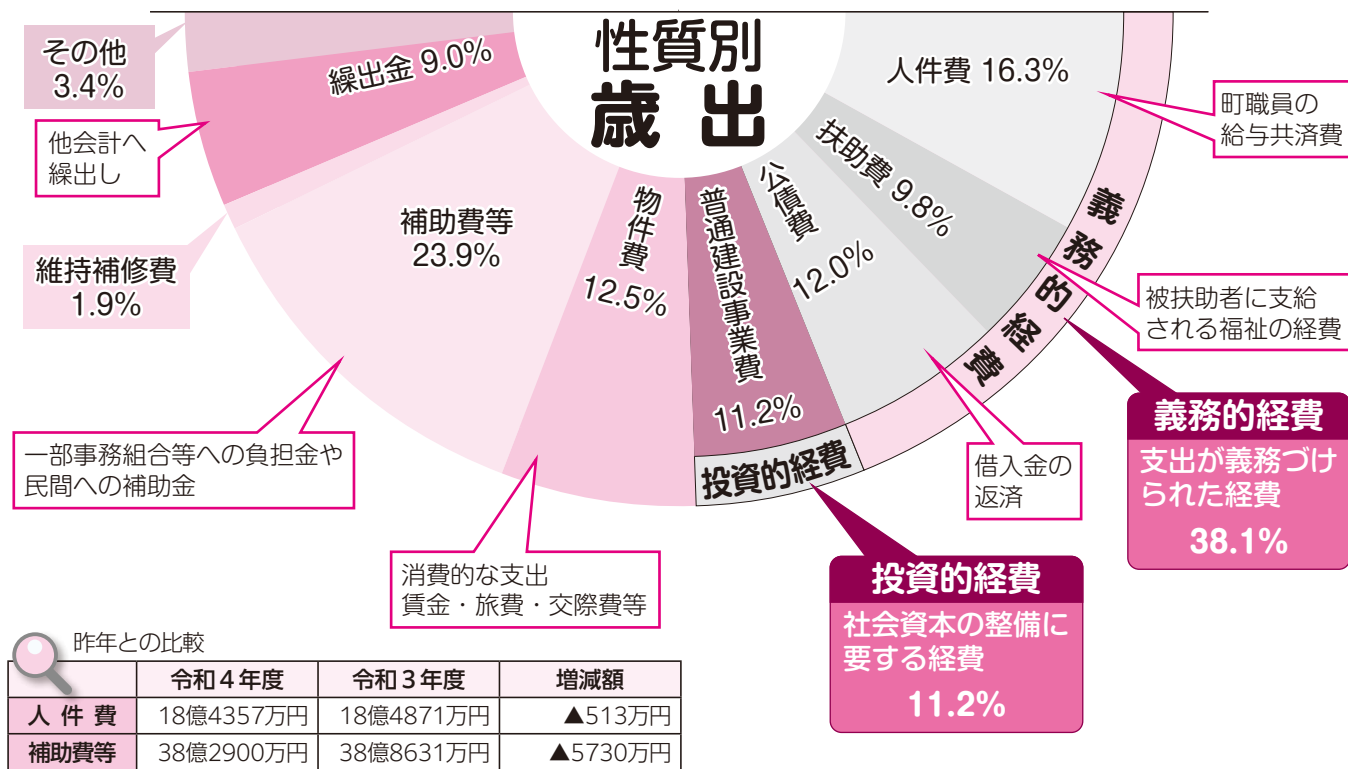
予算の内訳

昨年との比較

	令和4年度	令和3年度	増減額
地方交付税	52億3500万円	50億7400万円	1億6100万円
町債(借入金)	13億6500万円	13億9550万円	▲3050万円



一般会計 113億4900万円



昨年との比較

	令和4年度	令和3年度	増減額
人件費	18億4357万円	18億4871万円	▲513万円
補助費等	38億2900万円	38億8631万円	▲5730万円

令和4年度一般会計予算の特徴

- 113億4900万円で前年対比1.8%の増。
- 投資的経費は、地域振興拠点施設整備・メディカルタウン整備など、前年対比8.9%増の12億6900万円。
- 公債費(借入金返済)13億6500万円。
- 主な事業は、地域振興拠点整備、メディカルタウン整備、駅東萩野線道路改良事業

令和4年度の一般会計の総額は、113億4900万円、前年度対比1.8%増となった。地域振興拠点施設整備やメディカルタウン整備の継続などで増額となった。

町長は施政方針で、

新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、昨年決算ベースでは町税などの地方税が微増、また、社会保障費関係の伸びなど財政需要が増加するとしている。

本町の最大財源である地方交付税は、全国規模総額3.2%の増額の見込みだが、大幅な増加は期待できない、また各種基金の残高が乏しいなど、厳しい財政状況が続くと予想。

整備をはじめとするかわにし未来ビジョンの推進や、まち・ひと・しごと創生総合戦略のプロジェクト事業をはじめ、町の政策的課題や重要事業を可能な限り盛りこむよう努力したとしている。

財政運営に注視

大型プロジェクト継続

3月定例会のあらまし

3月定例会が、3月4日から25日までの22日間の会期で開催された。

第1日目に、川西町教育長の任命、および川西町監査委員の選任、川西町固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦、松川堰組合議会議員の選挙など人事案件5件を可決。職員派遣条例など条例案等14議案、令和4年度施政方針の説明、令和3年度各会計補正予算5議案、令和4年度一般会計予算7議案を一括上程、請願1件を各常任委員会に付託した。

第4日目に5人の議員が一般質問を行い、置賜定住自立圏構想の進捗や水田の直接交付金の問題など町政をたずねた。第5日日本会議を開き、第1日目に一括上程した予算案等に対し総括質疑を行い、予算特別委員会に付

託した。

第3日目を以降、常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審議した。

最終日に、予算特別委員会の採決後、付託された令和3年度補正予算5議案、令和4年度各会計予算7議案、条例案等14議案を原案通り可決した。なお、予算特別委員会では、国民健康保険事業特別会計関連で2件の付帯決議が行われた。

議員発議により、川西町議会議員定数条例を改正し、議員定数を現在の14名から1名減の13名とすることが可決された。このことにより、来年予定される町議会議員選挙から適用される。今定例会の傍聴者は5人だった。

次は私もひとごと

今年が目玉 ピックアップ アツプ



町の歴史の中心よ、さようなら

4億7800万円

地域振興拠点整備

旧庁舎と中央公民館の解体費(アスベスト除去)と拠点施設整備設計業務や道路改良工事に伴う用地取得費等の予算が議決され、実質解体作業は本年7月から令和5年6月までの工期になる。国庫補助金や過疎債を充当する。



インターチェンジも着実に進んでいる

9250万円

メディカルタウン整備

平成28年の計画立案から令和元年の工事着工に至り3年が経過した。計画に沿った進捗状況で、開業医やスパー等工事と宅地分譲の整備も進み、スーパーや宅地分譲に係る町道整備、上下水道も完成まじかになった。また、メディカルタウン定住促進宅地の支援策として、地盤改良補助金として改良工事費の2分1以内の支援をする。

新年度に期待 私もひとこと

子どもからお年寄りまで楽しめる施設を



賑わい、交流に期待大 = 新庁舎交流スペース

新庁舎になってから小松駅西は人通りが少なくなり寂しい限りです。特に、夜間は6時を過ぎると一層です。人の流れを取り戻す施設が欲しいですね。

拠点施設は、中央公民館機能も備えて、サークル活動を活発にしたり、気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。



小松地区
鈴木千賀子 さん



収束はまだまだ

5841万円

新型コロナ対策支援

新型コロナワクチン接種事業や新型コロナ感染症緊急経済対策事業として、感染拡大中の営業支援で借り入れた借入金の子補助や保証金の補助に充てられる。

他に令和3年度に執行できなかった、繰越明許分が別に充てられる。

メディカルタウンに期待



大塚地区
飯沢 清蔵 さん

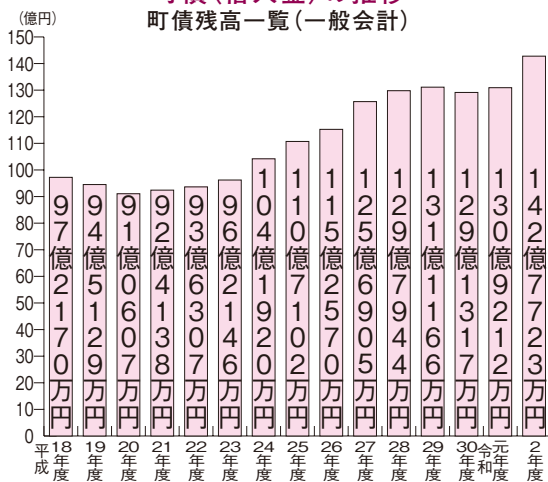
いよいよ造成も始まり姿が何となくつかめてきました。街ができる雰囲気です。いろいろ期待します。道路整備も進んできました。若い方々の移住で街に新しい息吹が生まれるといいですね。さらに、職場が生まれると言ったことなしです。元気な子どもたちの声が響く地域にしてください。



人口増に期待大 = メディカルタウン

ここが知りたい

町債(借入金)の推移
町債残高一覧(一般会計)



令和4年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	113億4900万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	16億8346万円	全員賛成により可決
下水道事業特別会計	4億7297万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	9537万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	20億4871万円	賛成多数により可決(反対2)
後期高齢者医療特別会計	1億9471万円	賛成多数により可決(反対2)

企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業	4億7259万円	4億5603万円	全員賛成により可決
収益的 資本的 会計	4660万円	2億951万円	

デマンド当日予約で午後利用



利便性向上で一安心 = デマンドタクシー

これまで、前日予約でしか利用できなかったため、急な用事は断るか、タクシーでしか対応できませんでした。前日からどこでも緊張していましたが、余裕ができるような気がします。

さらに町外までの利用ができればと考えます。年をとると足が心配で、行動も狭くなります。デマンドや公共交通の拡充を望みます。



吉島地区
市川 幸子 さん

次は総括質疑



デジタル田園都市国家構想は

神村建二議員

神村 国が示した、地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めるという「デジタル田園都市国家構想」について、本町としてどのようにとらえ町政に反映していくか。

冬期交通の確保は

伊藤寿郎議員

伊藤 施策に掲げる総合的な雪対策の充実と、町と町民が一体となった雪に強いまちづくりをどう進めるか。

町長 特に今年度の雪は2月の降雪も長く厳しく、除雪費も3億円を超え掛かり増

職員減でサービス低下に

橋本欣一議員

橋本 令和4年度予算のうち、コロナ禍で収入が大幅に減少している中、町税の歳入が増額見込みになっている。

また、職員数の削減で住民サービスの低下と職員の業務の過重負担にならないか。

財政と公務災害

高橋輝行議員

高橋 県内類似団体の河北町は財政調整基金は標準財政規模の10%であり、議会・町民に約束をしているが、本町は。

町長 現在は5%程度としている。

高橋 職員の公務災害については第3

燃料高騰、ハウス被害

寒河江司議員

寒河江 大雪で除雪作業を行う中、燃料高騰で事業者が疲弊しているが燃料費に対する補助を考えているのか。

町長 県の支援策はあるが、8棟とも耐用年数が過ぎていて対象外となる。農業振興の観点から新規の支援策を検討する。

町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



地域おこし協力隊の活用は

問 地域おこし協力隊の今後の活用の考え方

町長 地域おこし協力隊については、平成23年度に最初の協力隊員を委嘱して以来、今年度まで28人を委嘱し積極的に活用を図ってきた。

問 移住定住の今後の進め方

町長 本町では国の人口ビジョンに基づき、「川西まちひと、しごと創生総合戦略」を策定し、かわにし未来ビジョン後期基本計画と一体的に推進している。移住定住に係る取り組みの具体化には、交流事業を起点に位置付け、交流事業の支援団体として、やまがた里の暮らし推進機構を設置して情報発信を強化し、催事や移住フェアを通して、本町を知り、かわにしファンになってもらうよう努めてきた。町と

検診率を高め町民の健康増進を

問 町民の健康づくりに関する組織体制

町長 本町の健康づくりに関して

提供、地域等への仲介など、課題によりそった対応を行っている。移住は人生の転機ともいえるものであり、希望を持つ方の心情に沿った機会提供と支援が大切であると心に留め、移住に至る各段階に応じた伴走支援に努めていきたい。

施す。

健康づくりを推進していくために、町民一人ひとりの主体的な取り組みや、社会全体による支援の双方が重要になる。若い頃から自ら健康を意識し、生活習慣の改善や健康診断の受診等により、生活習慣病の発症や重症化予防に主体的かつ継続し取り組み、町報やインターネット等の情報媒体を活用し健康元気づくりの周知に努める。

近年では、農業研修生や遅筆堂文庫の研究委員など、専門的な人材を育成する視点も持ちながら、任期満了後も本町に定住のうえ継続して活動できるような支援してきた。

本年1月の段階で13人の方が退任後も本町内に移住されている。今後は、引き続き地域づくりや農業、または行政的な課題に対応する人材を積極的に委

デマンド型乗合交通事業

当日午前予約で午後配車可能に

問 デマンド交通の
運行内容は

答 現在のデマンド交通予約対応は、前日までの予約となっていたが、よりよい利便性を考慮し、当日予約で午後配車も可能となるよう拡充する。

意見 デマンド交通の利用者増加が見込まれるので早期に実施するように。

問 防災対策事業の内容は

答 各地区自主防災組織への整備補助金を利用し、各自主

防災組織へ防災関連備品等を配備した。

意見 防災関連備品の適切な管理をし、保管場所について検討するように。

問 地域振興拠点施設整備事業の内容は

答 基本設計に町民の意見を反映させ、中心市街地のにぎわいづくり拠点施設とするため、町民ワークショップを実施し、基本設計に意見、助言をする。

意見 町民ワークショップの充実による十分な意見集約を図り、基本設計に生かすように。

問 DX推進事業の内容

答 業務の電子化を図り、作業の効率化を増進し、ペーパーレス化も視野に入れ、住民へ早く、正確に情報を提供し、福祉の向上につなげる。

意見 業務プロセスを根本から見直し、最小の経費で最大の効果を上げるように。

問 消防団員の報酬内容は

答 消防団員の報酬を見直しで、報酬を増額することにした。

意見 近隣市町の報酬額を参考にさらなる増額を図るように。

問 定住移住促進事業の内容は

答 集落定住支援員制度を活用し、空き家バンクの利用促進や移住相談を充実し、移住希望者に対し移住への支援を強化する。

意見 集落定住支援員の活動を広く町民に周知して待遇改善に努めること。

問 小学校施設維持管理事業の内容

答 大塚小学校屋根根柢等の維持補修工事である。

意見 施設の維持管理にあたっては、状態の把握に努めながら適時、適切に対応するように。



当日予約も可能に

保育料負担軽減助成

4月から全額無償化(第3・4階層世帯)

問 保育料負担軽減助成事業の内容

答 昨年9月から、第3、第4階層世帯の保育料について、県補助金で2分の1を助成した。4月から残り2分の1を、町費で負担し全額無償化する。県に全額無償化の要望活動をする。

意見 県に全額無償化の要望活動をする。

問 子育て世帯包括支援センター事業の内容は

答 幼児歯科保健推進事業で、1歳から1歳2カ月までの幼児を対象に歯科検診を実施し、幼児期からかかりつけ歯科医を持つことを推進する新規

事業である。子育て世帯へ周知すること。

問 農村環境改善センター施設維持管理の内容は

答 トイレ改修工事が4月から10月までの予定であるが、工期短縮をする。

意見 工事期間中の利用者の利便性に十分配慮するように。

問 避難行動要支援者避難支援の内容

答 避難行動要支援者で個別避難計画の作成が努力義務となり、当該登録台帳とともに、整備を図る。各地区自主防災組織等関係機関

と、情報交換を行い推進すること。

問 農業委員報酬事業の内容は

答 農業委員、推進委員の仕事量が近隣市町と比べても大変多く、迷惑をかけているが、令和5年度が報酬見直しの期日なので、検討対処する。

意見 委員の活動実態に見合った報酬体系等を検討すること。

問 畜産共進会事業の内容は

答 令和4年度全国和牛能力共進会鹿兒島大会に、置賜農業高校を含む最大7頭の出品牛に支援する。置賜農業高等学校との連携およ

び支援について、畜産以外の分野でも連携強化を図ること。

問 戸籍住民基本台帳費の番号制度事務事業の内容は

答 マイナンバーカード交付件数は、今年2月末日で564

8枚、交付率38・4%で、コロナワクチン接種会場等の出張申請受付により取得率が増加している。

意見 各種行事等に出張申請受付をして取得率の増加に努めること。



全員保育料全額無償化の実現を

付帯決議

国民健康保険会計関連に付帯決議

余裕を持った運営を求めめる

国保会計は、保険給付費などの歳出を、保険税や国県等交付金補助金等の歳入で賄い運営する独立採算制が法律改正によって義務づけられている。

現在、一人当たりの医療費の増加等に伴い歳出が増えた場合は、それを賄うために、必要な歳出を保険税収入で確保しなければならぬ。しかし、現状は

保険税収入と国県等公費では必要な支出額が賸えず、国民健康保険給付基金を充当した運営が続いている。

少で次世代や被保険者の負担が大きくなる。県統一を控えた中で安定した国保運営を図るため、保険制度が円滑に機能するよう運営していく。

付帯決議(本文抜粋)

第1分科会 国保税率引き上げ慎重に

安定した国民健康保険事業の運営が大変重要である。

税率の見直しは、正確に将来予測を行い、情報を町民と共有し議論をつくして行うべきである。

全員賛成により可決

第2分科会 国保運営の健全化を

安定した運営となるよう、下記の事項について要望する。

- 記
- 令和10年度まで段階的な給付基金取り扱いと、急激な負担増とならないよう、シミュレーションを示すこと。
 - 医療費抑制を図るため、疾病の早期発見、早期予防の啓発活動推進。
 - 町と議会が連携し情報の共有、事業への提言など、国保運営協議会へ議員が参画できる体制整備を図ること。

全員賛成により可決

改正される税率内容(表)

区分	税率及び税額								
	医療分			支援金分			介護分		
	改正前	改正後	比較	改正前	改正後	比較	改正前	改正後	比較
所得割額(%)	7.1	7.3	0.2	2.5	2.5	-	1.8	2.4	0.6
均等割額(円)	23,000	31,500	8,500	9,000	10,500	1,500	9,000	12,000	3,000
平等割額(円)	28,000	21,400	▲6,600	8,200	7,100	▲1,100	4,500	6,000	1,500

※付帯決議 可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの。

議員発議

議員定数を1名減の13名に

議会活性化委員会報告(P31)により発議

川西町議会活性化調査特別委員会で調査が行われた。定数については、大幅な減員や現状維持の意見もあったが、委員会構成等を考慮すれば大幅な減員は活性化に逆行するもので、人口減少、有権者数の減少も勘案し、現行定数14

名から1名減とし13名とする報告とした。この件について議会で協議を行った結果、報告の通り定数削減を行うこととした。削減については条例改正が必要であること、町民への周知期間が必要であることから今定例会において議員発議

により、議会議員定数条例の一部改正が提出された。この条例で行われる直近の一般選挙は令和5年の統一地方選挙からとなる。

川西町議会議員定数条例の一部を改正する条例

例 川西町議会議員定数条例の一部を次のように改正する。
本則中「14名」を「13名」と改める。
〔附則〕
この条例は、公布の日から施行し、同日以降後初めて期日を告示される一般選挙から適用する。

川西町議会議員定数の推移

年別	議員定数	人口	議員1人当たりの人口
昭和30年	30	30,810	1,027
昭和42年	26	25,268	960
昭和58年	24	22,609	937
平成3年	22	21,639	976
平成11年	21	20,352	955
平成15年	19	19,520	1,018
平成19年	15	18,561	1,216
平成23年	15	17,474	1,165
平成27年	15	16,324	1,088
平成28年	15	16,008	1,067
平成29年	15	15,727	1,048
平成30年	15	15,428	1,029
平成31年	14	15,119	1,080
令和元年	14	14,901	1,064
令和2年	14	14,901	1,064
令和3年	14	14,570	1,041

(人口)平成28年7月より外国人も含み

川西町議会議員定数条例の一部を次のように改正する。
本則中「14名」を「13名」と改める。
〔附則〕
この条例は、公布の日から施行し、同日以降後初めて期日を告示される一般選挙から適用する。

ウクライナ侵攻に抗議する決議

3月11日開催の本会議において、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が行われたことに対し、強く抗議する決議を行った。

2月24日、ロシアは世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの侵攻を開始した。さらに現在は、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

このことは、国際社会においては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。

ここに、川西町議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現にむけ、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月11日
川西町議会
全員賛成により可決

次は人事・条例

人事

教育長任命、 監査委員など選任

教育長小野庄士氏と監査委員島貫憲明氏が任期満了となり、新たな人事が提案された。



教育長

●小林 英喜氏
こばやし ひでき
上小松

略歴

平成24年町立高山小学校校長就任
平成30年町立小松小学校校長就任
令和2年3月定年退職

全員賛成により同意



監査委員

●嶋貫 榮次氏
しまぬき えいじ
上小松

略歴

平成26年置賜総合支庁建設部建設企画課長
平成27年置賜広域病院組合事務局長
平成29年定年退職

全員賛成により同意

川西町固定資産
評価審査委員会委員

●青木 茂氏
あおき しげる
東大塚

全員賛成により同意

人権擁護委員

●奥村 邦彦氏
おくむら くにひこ
高豆冠

全員賛成により推薦

松川堰組合議会議員

●島貫 偕氏
しまぬき ひとし
吉田

全員賛成により当選

条例

行政手続きの 簡素化広がる

今回の条例改正で10議案が審議され制定された（抜粋）

託するため、本町の審査会を廃止する条例。
全員賛成により可決

川西町庁舎建設基金
条例を廃止する条例
新庁舎の完成による
庁舎建設基金条例を廃
止する。
全員賛成により可決

性別記載見直し
国における男女共同
参画社会の推進を背景
に、条例で規定する様
式等における性別記載
の見直し。
全員賛成により可決

川西町行政不服
審査会条例廃止
川西町行政不服審査
会の事務を山形県に委
託する。
全員賛成により可決

川西町行政不服
審査会条例廃止
川西町行政不服審査
会の事務を山形県に委
託する。
全員賛成により可決

その他
*公益法人等への職員
派遣に関する条例設定
*職員の勤務時間、休
憩に関する条例改正
*職員の育児休暇等に
関する条例改正
*中小企業、小規模事
業者振興条例改正等
全員賛成により可決

産付 財貸

旧東沢小学校活用へ

米沢の建築・新ストープ販売会社が
利活用申請

平成30年3月に閉校
になってから、東沢地
区で小学校校舎跡地利



新たな活用で地域の振興発展に期待 = 旧東沢小学校

用検討委員会が設置さ
れ調査、検討が進めら
れてきたが、令和2年
2月に地区として、旧
学校施設の利活用は困
難であるとの結果報告
があった。

広く町内外に情報発
信し、利活用について
提案募集を行った結果、
建築業、新ストープ販
売業の(株)Restから
申請があった。

会社概要
(株)Rest

代表取締役
横山 森之

米沢市塩井町塩野
木造住宅／新築、リノ
ベーション／新ストー
プ販売、設計、施工等
平成26年9月に創業、
社員5名で置賜初の薪
ストープ専門店となる。

契約

虚空蔵山線道路改良工
事（2工区）

路床盛土工、石灰安
定処理工の請負契約変
更

指名競争入札に付し
た同工事について、路
床盛土工、120㎡、
石灰安定処理、100
㎡、植生工670㎡、
を追加変更した。

契約業者 (株)黒澤技建
変更金額

334万8400円
完成

令和4年3月31日

貸付条件

校舎、体育館、校庭
は現状有姿貸付し、施
設及び周辺環境の適正
管理義務をもとめ、町
は修繕義務を負わない。

願査 請審

請願名

町道坂水田中線、町
道三ツ井坂水線道路整
備舗装整備

請願者

共生の里吉島資源保全
隊三ツ井活動隊

代表 平 仁三郎

副代表 島貫 壮太郎

紹介議員 島貫 偕

所管委員会

産業厚生常任委員会

主な内容

切削屑使用道路によ
り、激しい凹凸部分が
多く通行に不便をきた
している。スムーズに
往来できるように整地舗
装整備の請願。

審査の経過と結果

願意妥当で採択。

本会議

全員賛成により可決

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	欠 員	伊藤 寿郎	鈴木 幸廣
令和4年度川西町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度川西町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、－は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

正算
補予

(8号)

※ コロナ対策交付金を活用 議会ーT化・スクールバス購入

2月9日開催の議会臨時会では、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金や新型コロナウイルス感染症対策事業（第6弾）などの一般会計補正予算が提案された。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々が、速やかに生活・くらしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり

10万円の現金給付をするもの。

対象は、世帯全員の令和3年度住民税均等割が非課税世帯もしくは令和3年度収入が減少し、住民税非課税相当の収入となった世帯。事業費は1540世帯で事務費を含め、1億5800万円となり、全額国の交付金となる。

全員賛成により可決



安心安全で快適な通学を = スクールバス

コロナ対策事業

新型コロナウイルス感染症により、事業活動に影響を受けた町内事業者への支援と消費喚起のためプレミアム付き商品券及びプレミアム付きクーポン券を

発行するもの。さらに、農業支援では花き、野菜、果樹の継続支援、6次産業化支援などが盛り込まれた。感染症予防対策ではタブレット議会システムの導入と行政側のタブレット端末の購入、

各施設の密状態の解消、換気の機能の向上対策、教育施設の電子黒板化、消毒環境の整備など、36項目の事業が提案された。（4億8000万円）

全員賛成により可決



タブレット研修 = 議会活性化調査特別委員会にて

※正式名称 新型コロナウイルス感染症対策地方創生交付金

(9号)

冬期交通対策・施設燃料代を増額

この冬の大雪により除雪委託料が例年より大幅に増加し、当初予算の約3倍となった。今回の補正で6000

万円を追加し、当初予算、8号補正と合計で3億200万円となった。

有機農業支援

有機農業産地づくり推進事業で、オーガニックビレッジ宣言を行

い、有機農業を支援する。概要は今後県から示される。（事業費1000万円）

燃料費高騰対策

町内、幼稚園、小・中学校の暖房代などの追加分を計上した。



大雪対策は万全

令和3年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第8号)	125億6999万円 (5億8877万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第9号)	127億6814万円 (1億9815万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第8号)	18億8372万円 (4万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第4号)	5億2445万円 (391万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第11号)	20億4871万円 (73万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第8号・第9号)の主な内容

歳出	
虚空蔵山西線道路改良工事	1億円
住民税非課税世帯臨時特別給付金	1億5400万円
冬季交通確保事業(8号)	1億円
冬季交通確保事業(9号)	6000万円
歳入	
有機農業産地づくり推進緊急対策事業	1000万円

定住自立圏

置賜定住自立圏構想の進捗は

町長 一定住自立圏共生ビジョンに基づき推進中である

神村 置賜3市5町に立圏構想は、近隣の市町村が相互に役割分担し、圏域全体で生活に必要な機能を確保し、住みやすい地域社会を形成するものである。国も財政支援を行い後押ししているが、進捗具合はどうか。

町長 定住自立圏の形成に当たって必要な「置賜定住自立圏形成協定」は平成30年6月に米沢市と近隣2市5町との間で締結された。翌31年3月に「置賜定住自立圏共生ビジョン」が策定され、定住自立圏の将来像や、その実現のために圏域

内の市町が連携して推進する具体的な取り組みが示された。本町が圏域に対して求めている具体的な取り組みは、「圏域全体の交通ネットワークの整備と公共交通手段の確保」「医療連携の拡充」「企業立地と雇用創出」「再生可能エネルギー導入による電力の自給体制の構築」であり、これらを推進していきたい。

神村 近年デジタル変革(DX)が叫

ばれるようになった。その背景として、「人口減少等の社会環境の変化」、「多様化する価値観等の住民ニーズの多様化」、「デジタル技術の利用コストの低減化」等が影響していると言われている。

町長 国の方針として「デジタル社会形成基本法」が令和3年9月に施行された。本町においても「川西町自治体DX推進計画」および「アクションプラン」を令和4年度上半期中に策定する

神村建二 議員



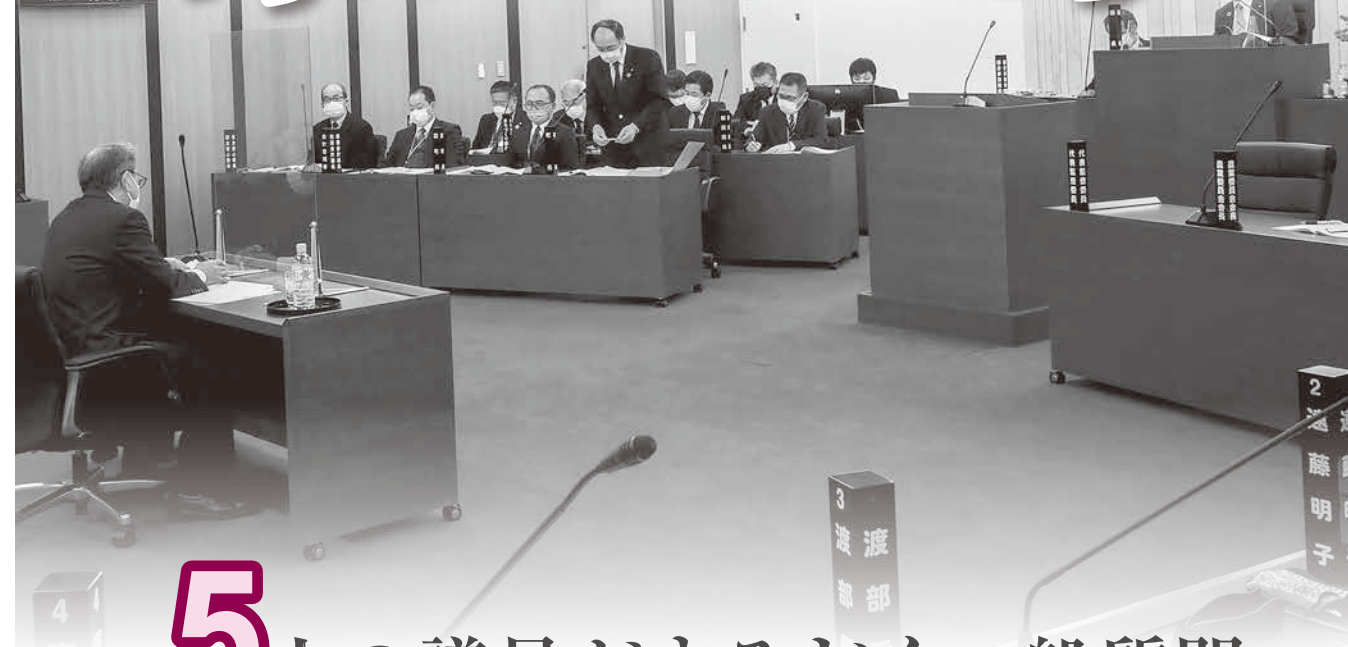
事務の自動化で労力軽減

こととした。下半期は令和5年度からの実行に向けて準備期間となるが、その期間中においても、議会とともに取り組んでいるペーパーレス化やロボテックプロセスオートメーション(RPA)の導入・拡大等を進めながら、業務の効率化や住民サ

ービスの向上を目指していく。DXはまちづくりの一つの手法であり、真に住民福祉の向上につながるよう、本町の自治体DXを推進していきたい。

その他 再生可能エネルギーに関する質問した。

町政をただす



5人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

<p>神村 建二 議員 (25ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 置賜定住自立圏構想の進捗は DX(デジタルトランスフォーメーション)取り組みの状況は 	<p>渡部 秀一 議員 (27ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> スクールバスの更新は計画通りか 空き家の現状と積極的な対策を
<p>吉村 徹 議員 (26ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和4年度「水田活用の直接支払い交付金」の見直しは 有機農業の現状と今後の取り組みは スマート農業の取り組みは 	<p>橋本 欣一 議員 (28ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 財調などの基金の運営は適正か SDGs・カーボンニュートラルの推進方法は
	<p>高橋 輝行 議員 (29ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 宅地分譲後の幼児・児童の受け入れ見通しは 総合教育会議での議論は

白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

まちの未来が見える(3月定例会の傍聴者は5人)
議会傍聴においでください
 どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階にお越し下さい)
次回定例会は6月です

一般質問

農業

町長―関係団体と連携を図る

水田活用直接交付金の見直しは



吉村 徹 議員

吉村

令和4年度から「水田活用直接支払交付金」の見直しが行われた。その中で大きな見直しについては、今後5年間に一度も水張りが行われぬ農地は交付対象水田としないとのことであるが、その取り組みはどのように行なうか。

とより、経営そのものを圧迫することが危惧されるとして、JAS山形おきたまおよび同農政対策本部から本職に對して国の見直しに関する要望書を受けている。安定した農業経営を実現させるため、支援の維持および充実に不可欠であると認識しており、県町村会や置賜総合開発協議会等と連携を図りながら水田農業の確立を積極的に

吉村

求めていく。国の22年度予算の中で有機農地の拡大を図り2050年までに100万ヘクタールまで拡大するところがあるが、本町における有機農業の現状と今後の取り組みは。

町長

農産物のブランドディング戦略の一環として「有機農産物の生産拡大と販売戦略」を掲げ、環境保全と資源循環型農業の推

吉村

進、新規実践者の育成、実践者と消費者の交流および供給体制整備の4項目を主要事業としている。令和4年度中に有機農業の生産、流通及び消費の拡大に向けた「オーガニックビレッジ」を宣言する予定である。

町長

また国では、スマート農業について2025年までに担い手のほぼすべてが、

町長

本定例会において「持続可能な農業支援事業」の補正予算を上げ、省力化や省人機械の導入を支援する事業が含まれている。今後は、通信環境やオペレータ不足、中山間地域への対応などの課題もあることから、国における

町長

データを活用した農業を実現するところがあるが。

その他

基礎整備事業、地籍調査について質問した。



畑地化が進む中、「5年に一度の水田化」はどうか

教育

スクールバスの更新は 教育長―計画に沿って更新

渡部

スクールバスは更新計画通り進んでいるか。また寄付して頂いたバスにより前倒しで進んでいるのか。各地区間のバス格差の解消や全員着席で乗車できる安全性の確保はどうか。スクールバスの運営を民間に委託したことによる問題等は生じなかったのか。

町長

現在小学校3台、中学校7台のスクールバスを保有している。中学校スクールバスは、令和元年度に柏ノ木、2年度に東沢と尾長島、昨年度寄付のバスを上和合バスと更新した。また、令和4年度に大塚バスを更

渡部

新する予定であり、計画に沿って更新を進めており、寄付があったことで前倒しになっている。また、令和4年度の更新に伴い、座席数の増加によって立ち乗りせず安全に乗車できると見込んでいる。

町長

報告は受けています。大きな吹きだまりに突っ込んでしまった。このことも考え、非常時のコース変更やチェーン装着等検

渡部

現在の空き家数と空き家率はどのようになっていたのか。また空き家予備軍と言われている、一人暮らしの方が施設等に移り、管理できなくなった住宅や小屋等は把握しているか。

町長

令和2年度の調査で323件把握している。空き家率

は平成30年時点で6.84%である。なお、空き家の把握は、水道の閉栓届や自治会への聞き取り調査で1年以上居住していない家屋としている。空き家予備軍は一人暮らしの高齢者について、福祉介護課で把握している。

渡部

これからも人口減少や高齢化によって空き家が増えていく。積極的な対策は、法改正による方策を検討する。また、危険空き家が発生しないよう繰り返し所有者に適正管理を求めていく。



コロナ禍で密をさけるためのスクールバス更新

渡部秀一 議員

一般質問

財政

町長―厳しい運営になっている

財調などの基金の運営は適正か



橋本欣一 議員

橋本 2月の臨時会の計上の財源として、財政調整基金を取り崩した。残高は1億円となり標準財政規模の5パーセント程度以上が望ましい中、1・7パーセントとなった。その後交付税の入金による積み立てで2・7パーセントまで戻した。瞬間的であっても1パーセント台は危機感を覚える。どう考えるか。

町長 財政は国が示す健全化比率では健全と判断されているが、各種基金の積立額は非常に少ない状況であると認識している。

財政調整基金は財源の年度間の調整、当初予算、補正予算時の財源調整に活用しており、標準財政規模の5%を目標としてきた。

橋本 国民健康保険基金は1億170万円となった。過去基金取り崩しにより、保険の引き上げを抑えてきたことにより、町民負担の軽減につながってきた。しかし、医療給付費の増加で、基金が底をつき始め、国保税を引き上げなければならなくなった。基金運営をどうするのか見解を伺う。

金取崩しにより、保険の引き上げを抑えてきたことにより、町民負担の軽減につながってきた。しかし、医療給付費の増加で、基金が底をつき始め、国保税を引き上げなければならなくなった。基金運営をどうするのか見解を伺う。

町長 他の特定目的基金は使用目的が定められており、基金ごとの目標額は決めていない。

特に国民健康保険事業では、コロナ感染症の影響などで、医療費の上昇分を基金取り崩しにより充当し保険税の増加分を抑えてきた。基金残高は2億465万円から1億171万円まで減少し、今後の医療費の伸びと国保加入者の減少などを考慮し、この度引き上げを提案した。今後も医療費の拡大

が予想され、町民の健康の推進を図り、医療費抑制で健全な運営を目指したい。

町長 町の取り組み自体がSDGsの達成につながると思われる。より分かりやすい取り組みをしたい。

橋本 SDGsやカーボニュートラルの推進方法は

SDGs・カーボニュートラルの推進方法は、企業などでこぞって取り上げられ、関心が高まっている。多くの方が取り組みに参加していると思っているが、具

体があるが、その内容について問う。

高橋 メディカルタウン整備事業費総額はいくらか。その財源は。

町長 置賜総合病院の土地利用計画を策定し、総事業費16億5500万円と試算している。整備後10年間で55億円の経済効果を見込む。起債充当と、国県からの財源確保を図っていく。

宅地分譲後の幼児児童の受け入れは、**高橋** メディカルタウン分譲後の幼児・児童の受け入れ見直しについてどのような検討をされたか。

町長 現在の北斗幼稚園ならびに大塚小学校で十分に受け入れが可能である。

高橋 地区内の幼稚園、小学校の規模、将来予測可能な課題は議論していく必要があるのではないか。

町長 教育環境の変化については、状況に応じて協議していく。

総合教育会議での議論は、**高橋** 平成18年2月策定の通学区域見直しと、平成27年1月の小学校再編整備計画との因果関係を問う。10年以内に再編を進めると複式学級の解消

を図ることが明記されているが、**町長** 具体的には「再編計画」等について総合教育会議では議論していない。

高橋 心配するなどの答弁だが、議論もせず大丈夫か。将来の見通しを整理すべきでは。**町長** 地域の合意形成を条件にしている。まだ時間がある。

高橋 「総合教育会議」が設置されるのか。**町長** 首長と教育委員会で構成する会議で町教育等の振興に関する大綱を協議するところである。**高橋** 総合教育会議で学区の見直しや統廃合について議論できるものか。**町長** 当然である。



町の財布の口の開け閉めをしっかりと管理 = 川西町役場

学区

小学校区再編はいかに

教育長 ― 総合教育会議では議論していない



高橋輝行 議員



少子化と地域振興、むずかしい選択が迫られる = 統合した川西中学校

次は委員会レポート

初のリモート視察

石川県志賀町と交流 広聴広報常任委員会

議会だよりの編集技術の向上や充実した紙面づくりとするため、本委員会では、全国市町村議会広報紙の先進地への視察、また、視察受け入れなどの研修を行っている。本委員会への視察受入れ状況は多い年で年間20件になる年もある。

コロナ禍においては、他議会との交流も実施



リモート視察研修 = 石川県志賀町議会と

に、議会傍聴、アンケート、任期中1回の投稿等を依頼している。アドバイザー制度は、文章・写真各2人。前編集委員長、町報経験者、写真愛好会委員、任期は2年間。文章アドバイザーには、初校時の校正を、写真アドバイザーには、最終校正時にアドバイスをいただいている。

志賀町 町民参加の取り組みが活発な理由、広聴活動の効果と課題は

川西町 シリーズ企画は、次回号に期待を持たせるとともに、継続テーマで深堀できる。広報紙は町民参加が必須で、紙面に登場することで読者が増える。

志賀町 広報モニター導入(継続)となつたきっかけおよび目的について。アドバイザー制度の効果と課題は

地域振興拠点・メディアカルタウン

整備進捗状況を確認 総務文教常任委員会

旧庁舎等跡地は、解体工事実施設計業務がおこなわれ、7月から解体工事が行われることとなった。期間は1年間。

メディアカルタウン整備事業は、住宅区域北側の分譲が9月開始の計画である。医療区域

高速交通網に関する事務調査

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会の閉会中の事務調査を、「高速交通網に関する事務調査」とし、高島地区の高速道路スマートインターチェンジ設置計画で、川西町との交通網や経済効果等、多方面にわたり調査研究をすることとした。

特別 委員会 レポート

議員定数報酬などで報告書

議会の活性化と町民の負託に的確に答える目的で、議員定数等の調査研究を行う本特別委員会を令和3年6月24日に設置し、3月定例会で調査結果を報告した。

定数

1人あるいは2人の議員、現状維持の意見もあったが、今後の委員会構成等を考慮すれば、大幅な減員は活性化に逆行するものであり、人口減少、有権者数の減少も勘案し1人減の13人とする。

報酬

報酬は、なり手不足を解消するうえで大きな要因となるとの認識から、増額の方向で町に対し特別職報酬等審議会の開催を申し入れる。また、政務活動費の在り方を今後検討していく。

町旗・国旗掲揚

町制施行以降、掲揚されて

その他

特別委員会の動静

福地 元高校の存続の有無は町活性化に大きく影響するとともに、中心市街地の賑わいづくりの一翼を担う重要課題である。そのため、置賜農業高校同窓会組織を中心に、関係団体等で構成する期成同盟会を設立させる目的で、その前段の準備会結成を早急に進めていく。

飯

豊町議会 団と連携し、情報交換を行うとともに、県議会議員との懇談会や陳情活動等を含めも継続していく。

中心市街地活性化調査

地域振興拠点整備事業の進捗状況を見据え、都市計画道路の未整備の課題や中心市街地の在り方について課題の整理と方向性を検討していく。

広報モニターから ひとこと④

大塚 高瀬 正敏 さん



町の今後の進展の情報源に有意義

私は3年前に親元就農し、周りの方々にお世話になりながら日々農業を頑張っています。

米価下落やガソリン代・原材料代の高騰で経費を圧迫している農業情勢に対する対策、コロナ禍により落ち込

んだ経済に対する政策や、ポストコロナ時代に適合した住みやすい町づくりなど、町政について知りたいことはたくさんありますが、「議会だよりに」は川西町の進捗状況や今後の進展などの情報源としてとても有意義なものです。

全国町村議会議長会の広報コンクールにおいて、今年度も入賞され、12年連続受賞という快挙を達成されたとお聞きしました。

どうすれば町民に読みやすく、わかりやすいものになるかということを中心に考えて制作されている姿勢が、連続受賞につながっているのだと思います。

これからも「議会だよりに」を通して、川西町の町政を知り全町民が一丸となって住みよい川西町を考えていきたいと思っております。

次は街かどインタビュー

いいね！かわにし 街かどインタビュー



土屋 清子さん(西大塚)

旧庁舎跡地利用(中央公民館)の当初案が変更されている。町民の意見集約をもっとして、利用しやすい施設にして欲しいです。まどかや古墳群など周辺にオートキャンプ場が欲しいですね。



遠藤 信幸さん(上小松)

今年は雪が多いせいか雪の始末が大変です。特に、消雪道路への雪出しは止めて欲しいですね。議員の任期ももう1年ですね、新人議員の頑張りで活性化を進めたいと思います。



加藤 愛琉さん(上小松)

川西は自然豊かなところが好きです。コロナ感染症が早く収まって自由に遊べるようになればいいですね。フレンドリーに遊びに来たら偶然友達と会いました。いろんな店があつて楽しいです。



小方 美桜さん(東沢)

思い出がいっぱい詰まった母校の東沢小学校が残って、生まれ変わって活用されるのはうれしいです。学校では部活動も自粛で学生生活もなんとなく楽しみがなくなりました。早くコロナが終わってくればと思います。



井上 すみれ 重さん(高山)

コロナ感染症の中でもイベントがあるということが出てきました。いろんな珍しい店があつてとても楽しいです。私の母校の高山小学校も福祉施設として生まれ変わります。残ってくれてうれしいです。



遠藤 明子さん(上小松)

手作り小物やアクセサリーを販売しています。イベントがあれば出店しています。最近気になるのは、コロナワクチン接種ヘイトがあることです。コロナで差別しないでほしいですね。



M&K 遠藤さん(南陽市)

手作りの木工製品を販売しています。好きで端材を使って作っています。川西町は企画ものやイベントが多くよく利用しています。いろんな方とおしゃべりを通してのふれ合いも楽しみの一つです。

3月5日(土)
フレンドリープラザ
春まち市にて
インタビュー
(感染予防対策をしたのインタビューでした。)

全員協議会

1月31日
全員協議会

住民税非課税世帯への臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、困難に直面した方々に対する1世帯当たり10万円の現金給付をするもの。
住民税非課税世帯を中心に1540世帯を想定している。

新型コロナウイルス対策

事業活動に影響を受けた事業者に対する支援と消費喚起のためプレミアムクーポン券(販売店でのみ利用)、

川西町公共施設等総合管理計画や選挙投票所の変更が示された

プレミアム付き商品券(共通・地域券)の発行補助や各施設の感染症予防対策が示された。

雪害対策

この冬の降雪状況の説明と雪害の状況の報告があつた。人的被害で骨折など5件、建物被害で2件、パイプハウス被害8件の被害報告があつた。
また除雪費不足が見込まれるため補正予算を予定している。

全員協議会

2月21日

令和4年度予算内示

令和4年度の予算の

概要が示された。総額113億円の予算で各事業を推進する。

給与の改定について

人事院勧告に従い国家公務員の給与改定に準じた改定を行う説明があつた。

地域振興拠点施設整備の進捗状況

小松地区および全町対象の説明会の開催の説明があつた。
旧庁舎のアスベスト調査、解体設計、解体工事、不動産鑑定、測量などの説明があつた。
また整備設計業務のプロポーザル審査結果が公表され山形市の鈴木建築設計に決定した。

3月23日
全員協議会

投票区の変更

選挙管理委員会では平成20年に30カ所から14カ所に集約された投票区だが、期日前投票の利用で、有権者の少ない投票所の管理者から見直しの意見が出されてきた。
協議の結果、小松地区は3カ所、小松以外は1投票所となり、9投票所に集約する説明があつた。

議員からは投票率の向上策と委員長からの直接説明を求める意見が出された。

川西町公共施設等総合管理計画

平成28年に初版の管理計画が策定され、計画に沿った公共施設管理を行ってきた。社会情勢の変化等により個別施設計画の成果も含め計画の見直しを行った。

保有公共施設を単純に更新し続けると今後40年で905億5000万円必要となる。今後、更新時期を迎えた段階で施設の除却や長寿命化で169億8000万円の縮減効果が出るとの報告があり、計画通りの実施と住民説明を求めた。

その他

置賜成年後見センター設置、置賜行政事務組合議会定例会、置賜広域病院企業団議定会の報告があつた。

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和3年10月から令和4年3月まで

月	件数	金額	内容
10月	2	10,000	置賜地域行政懇談会他1件
11月	1	5,000	元町議会議員伊藤健一氏香典1件
12月	2	11,000	川西町農業委員会忘年会他1件
1月	0	0	
月	件数	金額	内容
2月	0		
3月	0		
下半期合計		26,000	

議会にタブレット導入

ペーパーレス(紙削減)で効果あり

議会では数年前からペーパーレス会議を模索していた。また3年12月にゼロカーボン都市宣言を行ったこともあり、議会活性化特別委員会で協議

を行ってきた中で、タブレット利用の意見が出て、この特別委員会で先進地研修とペーパーレス議会のシステムの研修も行った。



ペーパーレスに向けタブレット操作方法を学ぶ

タブレット利用のメリット・デメリット

メリット

定例会、臨時会等行う際、大量の資料を使用する。ペーパーレス化により大量の資料を持たずとも、必要な時に必要な資料を効率的に参照することができ

デメリット

ペーパーレス化により、用紙代、印刷代、印刷機器の導入・運用コストや文書の郵送料などの削減。文書の印

タブレット利用のデメリット

大量のデータを持ち歩くことによるため、紛失や盗難等、情報漏洩の危険性がある。これを防ぐため、危機管理上、情報資産を堅く守る方法を選択する予定である。

会議システム導入検討

議会においてはペーパーレスが実際のようなものか、タブレットを使用しての研修を行った。膨大な資料が机を占

有しない。また追加資料なども瞬時に対応できるなど、利便性が感じられた。また、紙の使用を減らせることで、環境対策にも貢献できることから、タブレット端末使用等によるペーパーレス議会を検討している。

現在の推定

定例会で使用するA4紙使用量は約3万枚。タブレット端末を使用した場合は、文字の大きさにもよるが1ギガと言われる記録容量で約140万枚(あくまでの文字文章のみ)とのことである。

議会広報全国コンクール第5位

12年連続入賞



分かりやすく読みやすい広報紙を目指して = 編集委員のメンバー



優良賞を受賞した第145号

第36回町村議会広報全国コンクール審査会が令和4年1月に開催。47都道府県317町村議会からの応募があり、審査の結果、本町の議会だよりが、第36回議会広報全国コンクール総合第5位「優良賞」を受賞した。平成22年度より12年連続での受賞の栄誉に輝いた。

本議会広報常任委員会では、紙面にたくさんの方に登場してもらい、議会に対しての感謝と、多くの人に読んでもらえるよう、分かりやすい議会だよりを心掛けています。今後も一層精進していきたい。

審査員 講評

住民登場が効果的

住民登場やインタビューなど広聴企画が充実している。「政策検証」は7回目で議会への信頼感を高めている。「内容見出し」や視覚要素、余白を生かした紙面には訴求力がある。

(芳野)

議会だよりの完成度が高い

議員が自ら手がける広報、モニター、アドバイザー制度等を有効に運用して議会だよりの完成度を高め、コミュニケーション力の高い紙面づくりに成功している。

(吉村)

表現技量が高い

住民の関心を高める見出しを設け、本文で情報を訴求している。情報把握が伝わる丁寧な編集や視線の誘導を図ったレイアウト、表現技量が見て取れる。

(長岡)

表紙の写真



希望を胸にさあスタート

うらかな春の日差しの中、花祭りといわれる4月8日、小学校の入学式が行われた。表紙とこの文章を飾る写真は、町立大塚小学校の新生。今年度は10人が入学し、総児童数は83人になる。

小学生になってやりたいことはいろいろあり、ワクワクした気持ちで、楽しさがあふれている。

若い人の移住定住策を

玉庭地区にお住まいの丹野睦さんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

プロフィール

丹野 睦(たんの むつみ)

川西町玉庭 家族 父、母、祖母、夫、子ども、6人家族 趣味 映画鑑賞



出身地と 雅行さんとの出会いは

私は庄内・遊佐町出身で、言わば海育ちです。それに比べれば目の前に広がる山は違った意味での自然を感じます。

主人の雅行さんとは、雅行さんが庄内勤務の際、同じ職場での付き合いが深まり結婚しました。庄内、新庄勤務を経て現在は米沢勤務です。ここ2年間はコロナ感染症のため帰りが遅くなる日が多いです。

同級生が いっぱい欲しい

一人娘の嘉乃は小松保育所の年中で、夫婦で協力して送迎しています。難しい時は祖父母にお願いしています。仲良しのママ友もで



パパ、ママ大好き。お友だちいっぱい欲しいな

きて、いろいろ地域のことなども教えてもらっています。同年代の子どもが玉庭地区には3人しかおらず、遊ぶのも大変です。教育面では、ある程度の人数の中で育てたいです。

若者の移住定住強化を

もなく残念です。

また、吉島にある子育て支援センターを利用してましたが、玉庭からでは距離があり思ったよりも利用できませんでした。小松あたりだと嬉しいです。

人口減少が気になっています。子どももそうですが、一人暮らしの方が増えてきたし、近所でも跡を継ぐ方がおらずに世代が続かなくなっています。私は四世代家族で暮らしていて、子育てに協力していただき、大勢に囲まれ楽しく過ごしています。

いつもは地域行事などに家族で参加し楽しんでいますが、コロナ禍においてはイベント

若い人の移住定住策などを強化して欲しいです。

編集の後で

▼全国でも珍しい議員自ら手がける広報誌▼ 「町民の声」コーナーでは、インタビュー形式でより深くコミュニケーションを重視した▼第36回町村議会広報全国コンクールにおいて12年連続入賞の快挙▼今後も町民の皆さんにとって議会が身近に感じて頂けるよう住民視点に立った編集作業にあたりたい。

(寿郎)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
委員長 橋本 欣一
副委員長 遠藤 明子
委員 伊藤 進
同 伊藤 寿郎
同 寒河江 司
同 井上 晃一
アドバイザー(文章) 佐々木 賢一
アドバイザー(写真) 山田 順一
齋藤 文夫